富士写真フイルム株式会社
東京都港区西麻布２－26－30　〒106

お問合わせ先　フジカ製品の使い方、あるいは性能、点検、修理などのお問合わせは下記をご利用ください。

フジカ サービス ステーション

| | |
|---|---|
| 富士フォトサロン　東京都中央区銀座５－１先スキヤ橋ショッピングセンター　〒104 | TEL 東京(03)571－9411 |
| 札幌市中央区大通り西５－11　大五ビル　富士フイルム札幌出張所内　〒060 | TEL 札幌(011)241－7161 |
| 新潟市河渡丁70－１　新潟フジカラー現像所内　〒950 | TEL 新潟(0252)47－1341 |
| 仙台市本町１－１－８　日本オフィスビル　富士フイルム仙台出張所内　〒980 | TEL 仙台(0222)21－2601 |
| 名古屋市中区栄２－10－19　商工会議所ビル　富士フイルム名古屋出張所内　〒460 | TEL 名古屋(052)221－6181 |
| 大阪市東区備後町４－15　富士フイルム大阪支社内　〒541 | TEL 大阪(06)203－5212 |
| 岡山市中山下町１－２－36－201号　有森ビル２階　〒700 | TEL 岡山(0862)23－4876 |
| 金沢市堀川町５－10　堀川ビル内　〒920 | TEL 金沢(0762)63－0033 |
| 広島市大手町２－11－15　新大手町ビル　富士フイルム広島出張所内　〒730 | TEL 広島(0822)48－0281 |
| 高知市日の出町158　高知現像所内　〒780 | TEL 高知(0888) 5－7783 |
| 福岡市中央区天神１－14－１　日本生命ビル　富士フイルム福岡出張所内　〒810 | TEL 福岡(092)74－0231 |

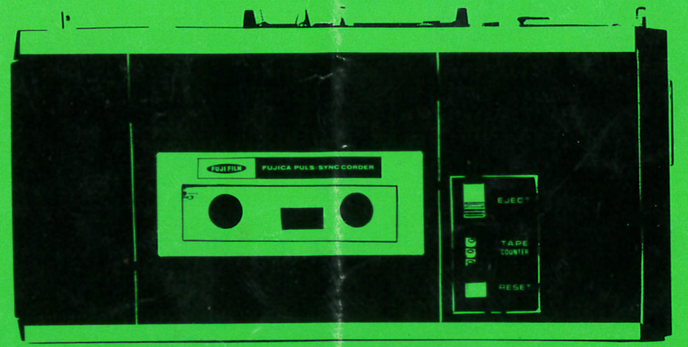
東京本社インフォメーションセンター 東京都港区西麻布２－26－30　〒106　TEL 東京(03)406－2590

宣匠-73. 2-MB・2.3-2①

FUJI FILM

# FUJICA PULS-SYNC CORDER

## フジカ パルスシンクコーダー の使い方



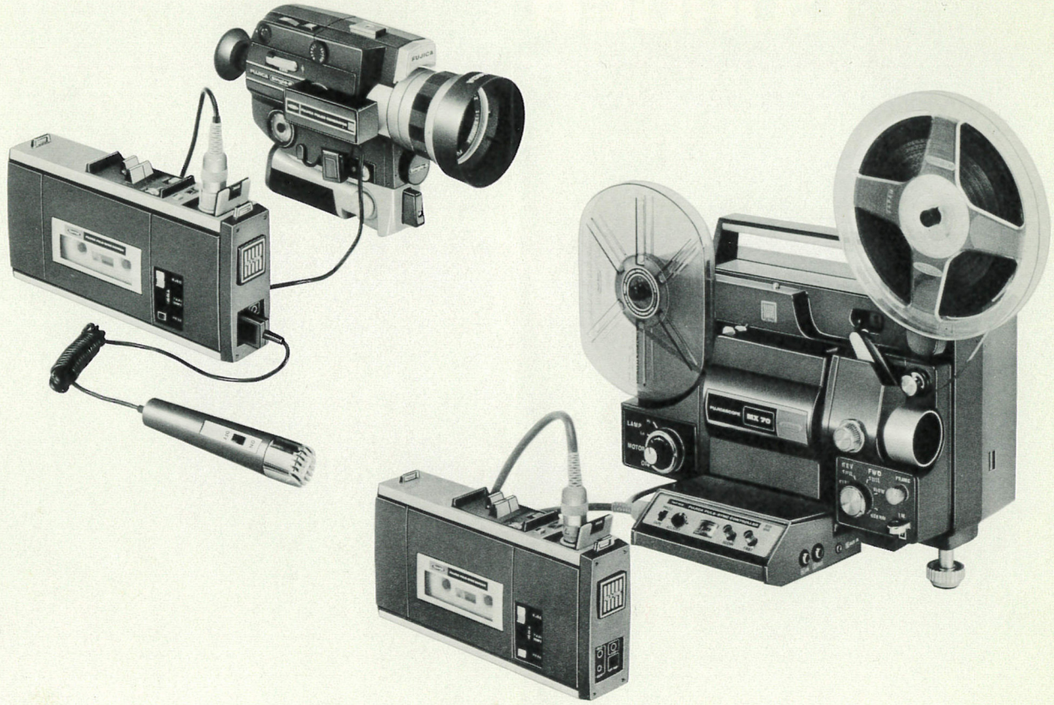

フジカ パルスシンクコーダーをお買上げいただき有難うございました。本機はパルスシンクシステムのカメラ、映写機と組合わせて完全なリップシンクロサウンド映画の撮影、映写に使用します。内容をよくご理解のうえご使用ください。

フジカ パルスシンクシステムの使用法については、別冊の「フジカ パルスシンクシステム」の説明書をご覧ください。

PULS-SYNC

●パルスシンクコーダーを使った同時録音の場合の組合せ

●パルスシンクコーダーを使った同期映写の場合の組合せ



# 目 次


● 各部の名称 —— 2

● 特長 —— 4

● お使いになる前に —— 4

● 電源について —— 5

● 使い方 —— 7

再　生 —— 7

1 一般の再生
2 外部スピーカーアンプの使用
3 早送り、巻戻し

録　音 —— 8

1 一般の録音
2 モニター
3 ラジオ・テレビ・他のテレコからの録音
4 インスタントアフレコ
5 一時停止
6 テープカウンターの使い方

消去・消去防止 —— 11

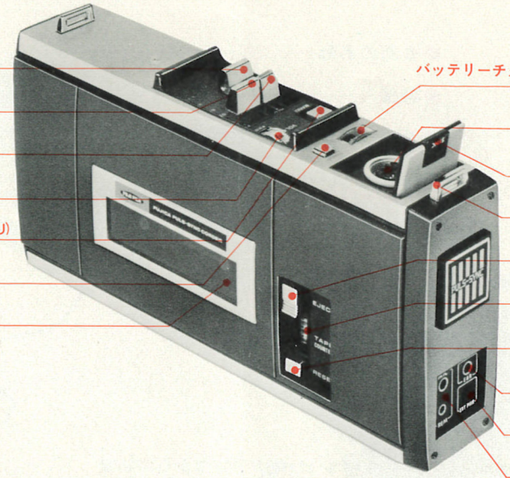
1 消去方法
2 消去防止

同時録音 —— 12

● 保守 —— 12

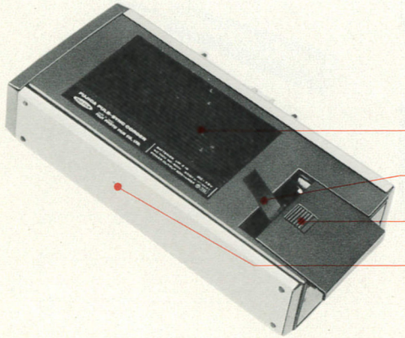
● 諸元 —— 13

# ● 各部名称



❶早送り・巻戻しレバー(F·FWD、REW)
❷再生レバー(PLAY)
❸録音レバー(REC)
❹音量調節ダイアル(VOL)
❺オート・マニアル切替えボタン(ALC-MANU)
❻一時停止ボタン(PAUSE)
❼カセットテープ室

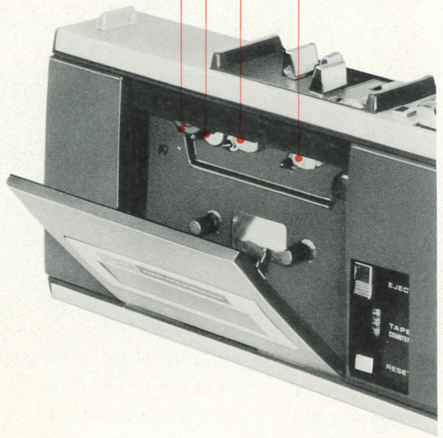
バッテリーチェック兼用録音レベルメーター(LEVEL)❽
シンクソケット(SYNC)❾
シンクソケットカバー❿
ショルダーストラップ止め金⓫
カセットエジェクトボタン(EJECT)⓬
テープカウンター(TAPE COUNTER)⓭
カウンターリセットボタン(RESET)⓮
イヤホーン・外部スピーカー端子(EAR)⓯
電源端子(EXT PWR)⓰
マイク・リモコン端子(MIC)⓱



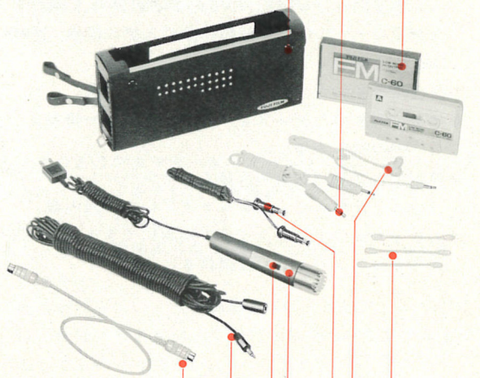
スピーカー⓲
リボン⓳
電池室⓴
インスタントアフレコ・ソケット(底面) REC.㉑



㉒消去ヘッド
㉓録再ヘッド
㉔キャプスタン
㉕ピンチローラー



㉖カセットテープ(別売)
㉗録音用接続コード(30Ω 減衰器付)
㉘キャリングケース



㉝シンクロ8Pコード
㉛マイク延長コード
㉙リモコンスイッチ
㉚マイクロホン

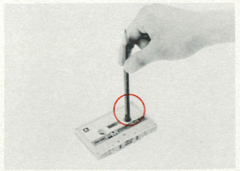
㉞ヘッド・クリーニング棒
イヤーホン㉜
パワーコード㉟

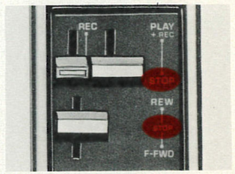
## ●特　長

●一般用カセットテレコとして使用できます。
●肩から吊ったまま片手で全操作ができ、コンパクトで軽く、同時録音に最適です。
●ショックに強いアンチローリング機構を採用しています。
●音の大小にかかわらず失敗なく録音できる自動録音レベル調節機構(AUTO LEVEL CONTROL)、過大な音を適正レベルに押える独特のマニュアル機構（MANUAL）を切替えて使用できます。
●録音位置を知らせるテープカウンター内蔵。
●録音・再生中にテープを一時停止できる一時停止ボタン（PAUSE）付き。
●再生中に部分的な音の入替え、ナレーションなどのアフレコに便利なインスタントアフレコ機構内蔵。
●カセット交換がワンタッチで確実にできる安全装置付きカセットエジェクト機構付き。

## ●ご使用の前に

1. シンクソケットカバーが開いているときは、自動的にパルスシンク方式の回路になりますので普通のテレコとしては使用できません。
2. ラジオ、テレビから直接録音用接続コードを使用して録音する場合、㊦または▽マークの付いているラジオ、テレビ以外は直接録音をさけてください。
3. 録音ヘッドにはドライバー、ピンセット、磁石などを近づけないでください。
4. 高温、多湿の場所での使用、保管はさけてください。カセットテープの保管も同様です。
5. カセットテープをテレコに入れるとき、テープがたるんでいる場合は巻取ってからにしてください。



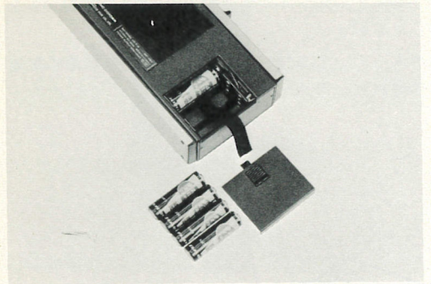



6. 録音・再生が終ったとき、テープが全部巻取られたときは、必ず録音レバー再生レバーをSTOPの位置に戻してください。
7. カセットテープの入替えのとき、レバーが全部STOPになっていないと、エジェクトボタンは動きません。
8. 本機やマイクロホンには強い衝撃を与えないでください。



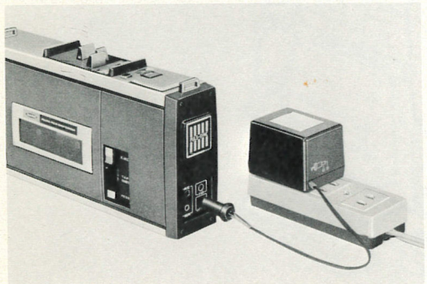
## ●電源について

### 1. 乾電池使用の場合



①電池室⑳のふたを開き、リボン⑲を下にして、表示に従って単３電池５本を入れてください。
②電池の寿命は連続録音の場合ハイ・パワータイプSUM-３使用で約１時間です。（同時録音撮影の場合はなるべくアルカリ電池AM-３をお使いください。）再生にして、レベルメーター⑧の針が白線の位置になったら、全部新しい電池と交換してください。
③電池はリボンを引くと飛び出します。

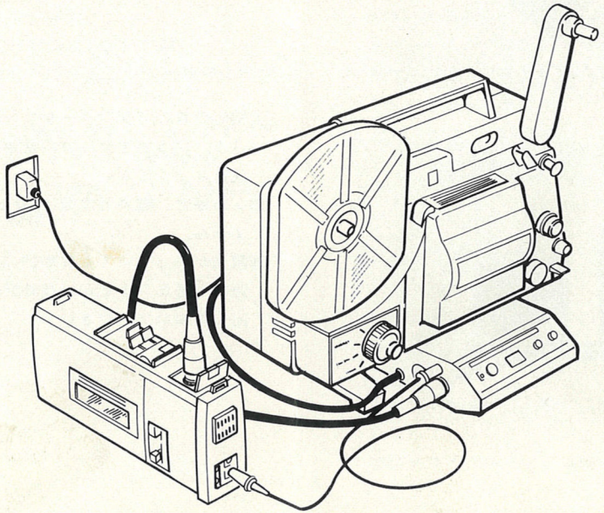
### 2. 電灯線使用の場合



①別売のＡＣアダプターをコンセント（AC　100V）に差込み、プラグをテレコの電源端子⑯（EXT PWR）に差込んでください。
②この場合、電源周波数は50Hzでも60Hzでも差支えありません。
③電池が入っていても自動的にＡＣアダプターからの電源に切替わりますが、長時間ＡＣ使用の場合は電池は出しておいてください。

### 3. パルスシンクコントローラーの電源使用の場合

(1)同期映写の場合、パワーコード㉝でコントローラー[1] EXT. PWRと、テレコの電源端子（EXT. PWR）⑯を接続してください。
(2)電池が入っていてもコントローラーからの電源に自動的に切替わり、電池が消耗しません。

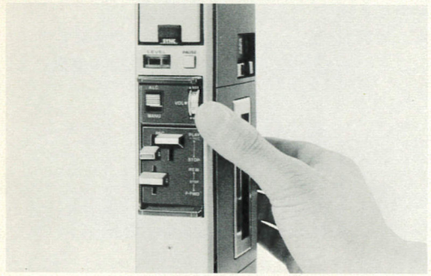




## ●使い方

## 再　生

### 1. 一般の再生

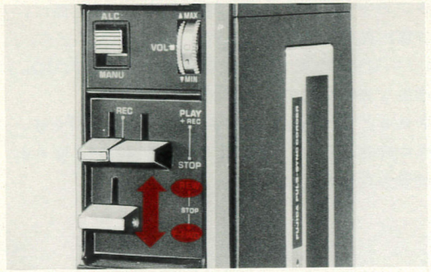


(1)エジェクトボタン⑫を押しカセットテープ室⑦のふたを開き、カセットのテープを再生したい側を上側に、テープ露出部を手前にして入れふたを閉めてください。
(2)再生レバー②をPLAY側にし、音量調節ダイヤル（VOL）④で適当な音量に調節してください。
(3)停止させるときは再生レバーをSTOPに戻してください。
(4)再生中に録音レバーをREC. にすると録音状態となり前の音が消去されますので注意してください。

### 2. 外部スピーカー、アンプの使用

(1)お手持ちのスピーカー（インピーダンス 8Ω）を使用する場合はイヤホン端子⑮に接続してください。
(2)大映写会などで外部アンプを使用する場合はイヤホン端子とアンプのAUX INジャックを接続してください。迫力ある音量で楽しめます。

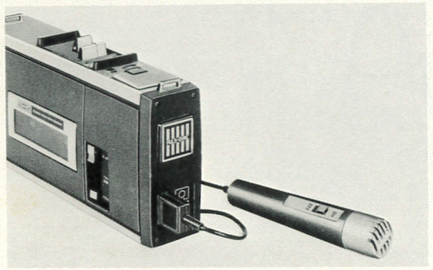
### 3. 早送り、巻戻し




(1)早送りのときは早送り、巻戻しレバー①をF-FWDに、巻戻しのときはREWにしてください。
(2)早送り、巻戻しが終ったらレバーをSTOPに戻してください。そのまま放置しておきますと故障の原因になります。

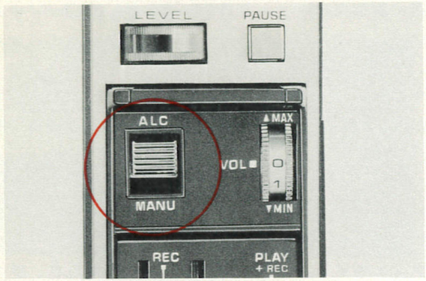
## 録　音

### 1. 一般の録音



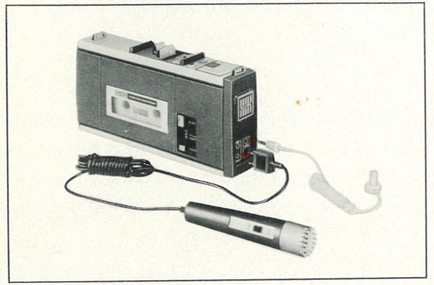
(1)カセットの録音したい面を上側にしてカセットテープ室⑦に入れてください。
(2)マイクロホンのプラグをマイク・リモコン端子⑰に差込み、録音レバー③、再生レバー②を両方一諸にRECにスライドし、マイクのリモコンスイッチ㉙をONにすると録音が始まります。
・録音レバーはカセットが入っていない場合、カセットの消去防止つめが折ってある場合は動きません。無理に押すと故障の原因となります。
(3)録音の音量調節はオート(ALC)とマニュアル(MANU)の切替えができます。






切替えボタン⑤をALC(AUTO LEVEL CONTROL)にすると自動的に録音レベルが調節されます。
●MANU(MANUAL)にすると、録音レベルメーター⑧を見て音量調節ダイヤル④により調整しながら録音できます。この場合メーターの針が大体黒の範囲で振れるようにしてください。

### 2. モニター



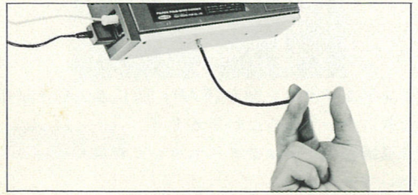
(1)イヤホン㉜をイヤホン端子(EAR)⑮に差込むと録音内容をモニターすることができます。
(2)同時録音撮影のときは必ずイヤホンでモニターして失敗を防いでください。

### 3. ラジオ、テレビ、他のテレコからの録音

付属の録音用接続コード㉗の一方をテレコのマイク端子⑰に、他方をラジオ、テレビ、他のテレコのイヤホン、またはスピーカー端子に接続してください。

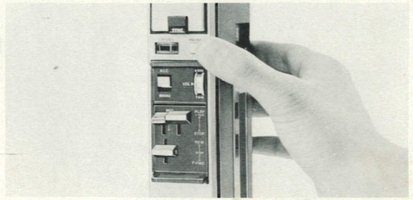
・必ず付属のコードを使用してください。他のコードでは故障の原因になります。またこのコードは録音以外には使用しないでください。(30Ω減衰器内蔵)

### 4. インスタントアフレコ



テレコ底部のインスタントアフレコソケット(REC)㉑にカメラ用のケーブルレリーズを取付け、レリーズボタンを押すと、再生中に録音状態に切替わり、前の音を消して自由に音の入れ替えができます。同時録音したときの音の修正に便利です。(この機構は消去防止つめが折ってあっても働きます)。

### 5. 一時停止

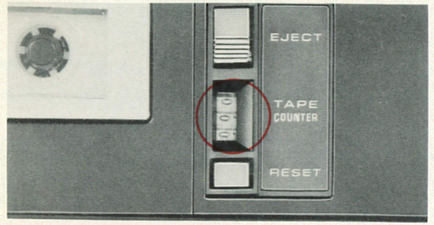


(1)録音、再生中に一時停止させたいときは、一時停止ボタン⑥を押してください。離すと再びスタートします。

(2)同時録音撮影のとき最初にフィルムの空送りが必要ですが、このボタンを押しながらカメラを操作するとテレコは動きませんので大変便利です。



### 6. テープカウンターの使い方




テープカウンター⑬は録音内容を数字により知ることができますので、特にパルスシンクのときには大変便利です。

テープの走行に従いカウンターの数字が進みます。リセットボタン(RESET)⑭を押すと数字が 000 に戻ります。

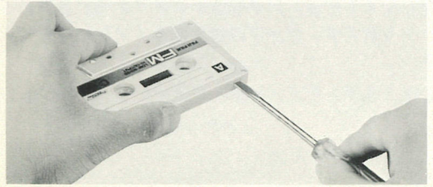
## 消去・消去防止

### 1. 消去方法

(1)一般の録音では録音済みのテープに新しく録音すれば、前の録音は自動的に消えますから特別に消去する必要はありません。

(2)同時録音撮影ではテープの全面を使用しますので完全に消去したテープか新しいテープの使用をおすすめします。消去する場合は最初の空送りする部分だけマイクロホンを取付けずに録音状態でテープを両面とも送ってください。

### 2. 消去防止

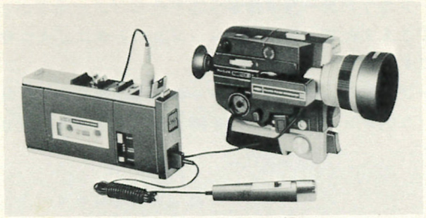


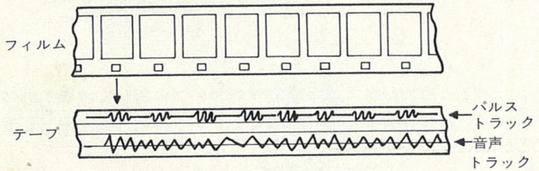
(1)録音済みのテープを誤って消去したり、録音してしまうことのないように誤消去防止ができます。

カセットの両端につめがありますが、このつめを折ると録音レバー③が動かなくなり、録音内容を保護できます。

(2)つめを折ったカセットテープにもう一度録音したい場合は、セロテープなどで穴をふさいでください。

## 同　時　録　音






パルスシンクシステムのフジカシングルー８カメラと組合わせて同時録音撮影を行ない、完全なリップシンクロサウンド映写ができます。

(1)パルスシンクコーダーのシンクソケットカバー⑩を開き、ソケット⑨にカメラに取付けられたパルスジェネレーターのシンクコードを接続してください。

(2)テレコを録音状態にして、カメラのシャッターボタンを押すと、連動してテープが送られ、実況音と１コマ１パルスの信号が同時に録音されます。

(3)同時録音時の組合わせ。

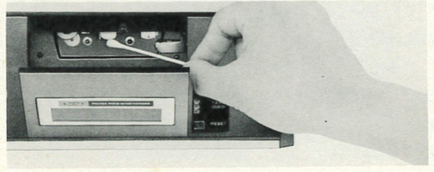
・テープは新しいものか、往復とも完全に消去されたものをご使用ください。

・同時録音は、テープ半分に音声（第1・第2トラック）他の¼（第４トラック）にパルスが録音されます。

・パルスシンクシステムの詳細については「パルスシンクシステム使用説明書」をご覧ください。

## ●保　守

### 1. ヘッドなどの清掃



ヘッド㉒㉓やピンチローラー㉕などテープに接触する面が汚れていると美しい音を保てません。

カセットを入れずに再生状態にするとヘッドやローラーが飛び出しますから、付属のヘッドクリーニング棒にアルコールを含ませ、テープの当る面をていねいにふいてください。

注、ヘッドを強く押さないでください。



### 2. ヘッドの消磁と点検注油

長く使っているとヘッドが磁化され雑音が出る場合があります。また、少なくとも１年に１度は各部の点検注油が必要ですが、ヘッドの消磁、点検注油には技術を要しますのでお買上げ店またはお近くのフジカ サービスステーションにお持ちください。

## ●諸　元

| | |
|---|---|
| ●電　　源 | DC 7.5V　単３乾電池５本<br>AC　100V　50または60Hz　（専用ＡＣアダプター使用）<br>パルスシンクコントローラーからも供給可能 |
| ●消 費 電 力 | AC 1,400mW、DC 1,100mW |
| ●電池の寿命 | 連続録音にて約１時間(SUM-3使用時) |
| ●テープ速度 | 4.75cm／秒 |
| ●録音方式 | ½トラック方式<br>パルスシンク時――ＬＬ方式（1・2・4トラック） |
| ●出　　力 | 600mW　50mmスピーカー |
| ●周波数特性 | 200～6,000Hz |
| ●入力端子 | マイク端子（入力最低レベル0.3mV低インピーダンスマイク用）<br>リモート端子 |
| ●出力端子 | モニター端子（８Ωイヤホン用または10kΩ負荷）<br>※シンク　ソケット |
| ●大　　き　　さ | 高さ106×巾210×奥行45mm |
| ●重　　さ | 870g（電池を含む） |
| ●付　属　品 | ハンドマイク…１、　イヤホン…１、録音用接続コード…１、マイクロホン延長コード(10cm)…１、パワーコード１、８Ｐシンクロコード…１（コントローラーとの接続用）<br>乾電池SUM-3…５本、ヘッドクリーニング棒…１式、キャリングケース（マイクロホンケース付） |
| ●別売付属品 | ＡＣ電源アダプター |

※

●カセットテープは富士フイルムのＦＭカセットテープをおすすめします。

●本機の諸元、外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。